

増田雅広さん(神福)中四国ブロック商工会青年部主張発表大会 最優秀賞

平成24年9月8日(土)鳥取市とりぎん文化会館において「中国・四国ブロック商工会青年部交流会鳥取大会」が開催され主張発表大会で日南町商工会青年部副部長の増田雅広さん(神福 増田林業)が最優秀賞に選ばれました。この大会では中四国各県から9名がまちづくりや地域振興をテーマに発表し、増田さんは、父の死や林業経営の厳しい環境の中、仲間と共に頑張って活動を続けられている状況を発表されました。増田さんは来年2月6日、徳島県で開かれる全国大会に鳥取県から初のブロック代表として出場します。



FSC(森林認証)

FSC(Forest Stewardship Council R:森林管理協議会)は、改善のすすまない世界の森林問題に対応するためにつくられた非営利の国際組織です。世界では過剰な森林伐採により、森林の減少が止まりません。一方国内では、林業の衰退により、戦後に植えられた人工林の適切な利用が進まず、森林管理の継続性に赤信号が灯りつつあります。「FSC森林認証制度」は、違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐ手立てを持ち、「森を適切に管理している」団体に独自のロゴマークを付与するしくみです。

FSCロゴマークのついた製品が世の中に広く流通し、消費者に積極的に選ばれるようになれば、適切な管理をしている森林が増えることにつながります。FSCには10の原則があり、地域住民の伝統的な権利の尊重、森で働く人への配慮、計画的・持続的な森林管理と伐採およびそのチェック、豊かな生きものが住む森の実現、保護すべき貴重な森を守り育てる、などが、認証基準になっています。

FSCロゴマーク



日南町森林組合FSC(森林認証)

平成21年7月 事前審査受審 11月 本審査受審

平成22年3月 FSC森林認証を取得(2,616ha)、国内31番目の取得

日南町民大学における講話から(日南の森林から地球を動かす)

家の建築以外の利用として、昔(といってもつい最近まで)は木を炭にして、燃料とすることしかなかった。しかし、森林資源の他用途への活用が研究され、現在はこれまで考えられなかった多くの利用方法がある。(図「バイオマスリファイナリーシステム」を参照) 細かい粉末状にして成形した製品・混合した新たな製品、繊維部分を使った製品、木質部分から抽出するアロマオイル、エタノール、オイルがあります。また昔ながらの燃焼・燃料を主眼として、木炭・コークス・チップ・ペレットなどを製造しそこから、熱供給による暖房・農業用に熱利用、公共福祉(コミュニティタウンも含む)用の熱利用、さらには熱化して電力生産。木質バイオマス活用の特性は、輸送コストなどを考え比較的限られた地域での熱供給として、農業の六次産業化、積雪地域での周年栽培など産業の多様化と拡大が見込まれることです。地域の手が届く範囲での利用は、海外依存の他の石化資源にない地域自由性があります。しかし、コスト的に困難な点があり、いろんな利用手法を組み合わせることでトータルとしての収支が取れるような仕組み作りが必要です。

